

Mazda Town Festa 2024 に ご招待いただきました！



左から児玉圭凌さん（農家）、能登亮太さん（農家）、山本哲司さん（やまもと亭）、長谷川聖夏さん（役場）
田中航平さん（瀬野鉄工所）、木村岳人さん（瀬野鉄工所）、加藤優弥さん（役場）

5月31日（金）から6月2日（日）の3日間、マツダ株式会社からご招待を受けて広島県に行ってきました。参加したのは次世代を担う剣淵町で就業している7名です。

「Mazda Town Festa 2024」の車両強度開発現場見学では国内未発売のCX-50への乗車、風洞体験ではロードスターへの乗車など、普段することができない体験を沢山させていただきました！

以下、参加者の感想を抜粋して掲載します。

■能登亮太さん

次はマツダ車にしようかと思うくらい、社員さんの快適な運転への熱い想いが車づくりに繋がっていることを知ることができました。

路面電車で新鮮さと驚きがありました。原爆ドーム、記念資料館は胸が苦しくなるくらいの痛々しい写真や絵が並んでいましたが、原爆について深く知ることができて良かったです。

■田中航平さん

初めての広島ということもあり、刺激を受けるとともにとても勉強になる内容でした。ロータリーエンジンの分解実演を見ることができたことは、分解、整備を行う身として見ていてとても楽しかったです。

■マツダ株式会社と剣淵町の交流

1984年に町内有志によって交流はスタートし、1985年には町道での冬季テストが始まりました。1986年「剣淵・マツダとふれあう会」が設立され、マツダテスト隊員歓迎交流会や子ども交流会を通して関係は深まり、その後、1990年には現在の耐寒自動車試験場の竣工、試験場解放イベントが開催されるようになり、2015年の三次試験場50周年記念イベントに剣淵高校生7名が招待をされたことをきっかけに剣淵町から広島県へ毎年訪問するようになりました。

今回は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、5年ぶりにマツダ株式会社のイベント「Mazda Town Festa 2024」に招待され、マツダ株式会社の車両開発本部、デザイン本部、R&D戦略企画本部の社員の皆様に広島県をご案内いただき交流を図りました。



原爆ドーム前



自由行動で訪れた宮島